

## 越境する女性詩たち : モダニズム再考

著者	難波江 仁美
雑誌名	神戸市外国語大学外国学研究
巻	88
発行年	2015-03-01
URL	<a href="http://id.nii.ac.jp/1085/00001803/">http://id.nii.ac.jp/1085/00001803/</a>



## 越境する女性詩たち—モダニズム再考

本論文集は、2012-2013 年度神戸市外国語大学研究班研究助成金による共同研究の成果である。本研究に先立ち、わたしたちは 2010-2011 年度にも同助成金を受け共同研究を行った。その成果である論文集『もうひとつのモダニズム—1920 年～30 年代の女性詩人たち—』（2011）の序文には、十分に知られていないアメリカのモダニスト女性詩人達に着目してこの研究会を発足したいきさつが説明されている。同時に、アメリカの女性詩人だけではなくイギリスの女性詩人、またジェンダーやジャンル、国を越境して創作する詩人たちを視野に入れる必要性が「今後の課題」として付記されている。本論文集は、まさにそれに応える形で研究を行った成果である。

本研究会では、定期的に専門分野の違うメンバーが集い、多角的な方面から自由に討論をするという共同研究の醍醐味を味わうことができ、幸運であった。また日本のモダニズムを研究する海外の友人達による講演会も企画することができ、西洋だけに限らず、日本、東洋における同時代の文学芸術活動にも目を向け、グローバルな広がりの中でモダニズムという大きな潮流を考えるきっかけづくりにも貢献した。研究班として 2 期（4 年間）にわたって共同研究を続けることができたが、議論することはまだ多く残されている。今回の論集にも明らかなように、個別の作家を発掘紹介するだけでなく、文学と他の芸術（絵画や舞踏）とのかかわりのなかで捉えるモダニズム運動も射程に入ってきた。今後の課題としては、他の芸術運動と文学運動との「越境的」共鳴関係も考察して、モダニズムの持つジャンル横断的側面のダイナミズムについて明らかにしたいと考えている。

最後に、わたしたちが「モダニズムの会」という愛称で育ててきた共同研究、そして本叢書の刊行を可能にくださった神戸市外国語大学に感謝の意を表したい。

(2014 年 10 月 難波江 記)